「本物の出会い　栃木」デスティネーションキャンペーン　開催

開催期間　平成30年4月1日～6月30日

デスティネーションキャンペーン（略称ＤＣ）は、ＪＲグループ６社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）と地域（地方公共団体・住民・企業など）が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーンです。

栃木県のＤＣは、19年ぶり２回目の開催です。

栃木ＤＣでは、「花」「食」「温泉」「自然」「歴史・文化」を基本テーマに、お客さまに栃木が誇る本物の魅力と最高のおもてなしをお届けします。

テーマ：花　テーマ：食　テーマ：温泉　テーマ：自然　テーマ：歴史・文化

２月中旬からＪＲ『大人の休日倶楽部』のＣＭで「黒羽の芭蕉編」が流れています。

女優の吉永小百合さんが、ＣＭ撮影のために市内を訪れました。

本物の出会い 栃木
Discover your Tochigi

大田原市の主なＤＣ事業

◆芭蕉ゆかりの黒羽　３大パワースポットを巡るたび

▶開催期間…４月～６月（ＤＣ期間中の日曜）
▶料金…4,800 円
▶定員…各回 26 名
▶問い合わせ…大田原ツーリズム（℡（４７）６７５９）

松尾芭蕉の足跡を辿りつつ、現地ガイド付きで３大パワースポットを巡る。県外からも常連客が訪れる人気の古民家レストランで地元野菜たっぷりのランチが体を癒す。パワースポットとプチ坐禅体験で日頃のストレスをリフレッシュ！

コース
那須塩原駅（10:00）→那須神社（参拝）（11:00）→道の駅与一の郷（お買物）（11:40）→カフェレストラン糸（昼食）（12:45）→雲巌寺（参拝）（13:45）→大雄寺（参拝、プチ坐禅体験）（15:30）→那須塩原駅（16:00）

◆大田原屋台まつり　桟敷席

▶日時…４月 21 日（土）午後５時～８時 30 分
　　　 ４月 22 日（日）午後２時～７時 30 分
▶場所…大田原商工会議所　３階特設会場
▶料金…21 日（土）3,000 円／ 22 日（日）4,000 円
▶定員…両日 30 名
▶問い合わせ…大田原市観光協会（℡（５４）１１１０）

花鳥・唐獅子などが精巧な技法で彫り込まれた豪華絢爛な九台の屋台が一堂に会して行う「ぶっつけ」（お囃子の競演）は迫力満点！「ぶっつけ」を真上から眺められる『桟敷席』で大田原市自慢の地酒を堪能しながら、ゆっくり観覧できます。

桟敷席から眺めた「ぶっつけ」の様子

◆くろばね紫陽花まつり

▶期間…６月 16 日（土）～７月８日（日）　※ライトアップは、午後７時～９時まで。

花の公園として有名な黒羽城址公園は、約 6,000 株の紫陽花が公園を埋め尽くし、お堀の両斜面に咲く紫陽花を下から見上げる景色は圧巻です。

まつり期間中の週末には、ＪＲ那須塩原駅から紫陽花まつりと鮎料理を体験できるツアーを運行。その他、「２人のための音楽会」や夜間ライトアップ等、紫陽花をロマンティックに楽しめるイベントを企画します。

２人のための音楽会の様子

大田原市ＤＣキャッチコピー『ちょこっと　より道　大田笑』

◆水戸黄門が発掘した国宝・遺跡散策と牛農家直営ＢＢＱランチ

▶開催期間…４月～６月（ＤＣ期間中の土曜）
▶料金…5,500 円
▶定員…各回 26 名
▶問い合わせ…大田原ツーリズム（TEL（４７）６７５９）

日本考古学発祥の地とも呼ばれる湯津上。自然と歴史が融合した美しい古墳のガイドウォークと国宝見学で過去にタイムスリップ。ランチは、大田原産の赤身が美味しいヘルシー牛と新鮮野菜のＢＢＱを満喫し、大田原市自慢の地酒を堪能する盛り沢山のコース。

コース
那須塩原駅（10:00）→なす風土記の丘（見学、古墳ガイドウォーク）（11:40）→笠石神社（参拝、国宝見学）（12:20）→前田牧場 BBQ 広場（昼食）（13:45）→天鷹酒造（試飲体験）（14:30）→道の駅与一の郷（お買物）（15:30）→那須塩原駅（16:00）

◆第１回芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会（鮎レディ）

▶日時…6月 17 日（日）午前８時 30 分～正午
　※表彰式：午後１時～
▶場所…那珂川右岸河川公園（黒羽商工会裏）
▶参加費…1,000 円
▶募集定員…40 名
▶問い合わせ…大田原市観光協会（TEL（５４）１１１０）

鮎釣りの全国大会も開催される清流・那珂川。プレＤＣで大好評だった女性の鮎釣り大会を正式認定。釣り道具は無料レンタル、地元プロが「友釣り」を教えてくれます。鮎釣りしてみたい女性はチャンス！

昨年の鮎釣り大会の様子

いよいよ４月から栃木ＤＣ本番を迎えます。この１年間、栃木県内の各地で『本物の出会い　栃木』をキャッチコピーに「花」・「食」・「温泉」・「自然」・「歴史・文化」の５テーマを中心に観光素材の磨き上げやおもてなしのレベルアップを図ってきました。

大田原市観光協会
会長　吉岡（よしおか）　博美（ひろみ）さん

大田原市においても、『ちょこっと　より道　大田笑』をキャッチコピーに掲げ、ＪＲ駅から観光客を大田原市に呼び込むための二次交通の確保や、地元の住民に愛され続けてきたイベントを観光客向けにブラッシュアップしてきました。観光客の目線に立って得られた成果を、来月からの本番に生かしていきたいと思います。

ＤＣはひとつのきっかけであり、初めて大田原市を訪れたお客さまが「満足」して「感動」することで大田原市のファンになり、他の季節にも大田原市に来訪してくれることがＤＣの本当の目的だと思っております。

お客さまの心に残るのは「地元住民との交流」であり、大田原市の本当の魅力は『人』であると確信しております。

大田原市民が得意とする「おもてなし」の心で、お客さまに『また来るね！』と言ってもらえるように、市民一丸となってＤＣを成功させましょう。